

## 5—15 ファルーク少将との会談



首相官邸内でファルーク少将と

パキスタン政府の救出・救援活動の統括者であり、スポークス・パーソンであるファルーク少将と会談した。

- 日本政府の支援、外務副大臣・大使の来訪、自衛隊の派遣に大変感謝している。
- 今回の災害は津波災害よりも甚大である。震災のエリアが数百キロ平方に及び、いまだに救援活動を展開できていない地域が多い。
- インフラ、コミュニケーション設備が一瞬にして破壊された。がけ崩れ、地すべりが相応な広範囲にわたり発生した。
- 我々の最大の課題は、冬を直前に控えて、いかに被災者を守るかである。そのため、20万のテント、200万の毛布の調達・配布を目指している。瓦礫撤去のための重機ももっと必要だ。
- テントは国内の製造分は全て契約済であり、海外からの調達が不可欠である。
- インフラの復旧や家屋、学校、病院の復興には50億ドルを要する。国際社会の協力を強く願っている。